

2016年 年頭挨拶



一般社団法人情報通信技術委員会 代表理事専務理事 前田 洋一

あけましておめでとうございます。昨年中は、皆様の格別のご厚情を賜り、TTC創設30周年を無事迎えることができました。ここに改めて厚く御礼を申し上げます。

2016年は、TTCがアップストリーム活動を推進する国際標準化機関であるITU-T（国際電気通信連合の電気通信標準化部門）にとって、1956年に国際連合において、その前身である国際電信電話諮問委員会（CCITT）が設置されてから還暦の年（60年）に当たります。TTCとして、ITU-T還暦記念を盛り上げるイベントに貢献できればと思います。

TTCは1985年の発足以降、通信自由化によるマルチキャリア相互接続、インターネット・モバイルの飛躍的发展、通信のグローバル化といった大きな転換期に亘り、情報通信（ICT）ネットワークの発展に関わってきました。昨年は、「IoT（Internet of Things）」や「5Gモバイル」に関する検討が国内外でスタートし、2020年およびそれ以降のネットワークを睨んだ大きな転換期を感じさせる年でした。そして今年は、ITU-Tにおいて4年に一度の世界電気通信標準化総会（WTSA）が開催され、新研究会期の標準化課題と体制等が決定され、グローバルレベルの検討が本格化する年と位置付けています。TTCは、これらの新しい潮流を捉え、会員の事業展開や我が国の国際競争力の向上に貢献したいと考えております。

IoTについては、TTCはM2M（Machine to Machine）通信プラットフォームを標準化するグローバルなプロジェクト「oneM2M」に2012年の発足時より参加し、oneM2Mリリース1仕様書の発行やITU-TのSG20新設に貢献してきました。次世代モバイルネットワークを検討するグループを立ち上げ、ホワイトペーパーの公開、5GMFとの連携、3GPPやITU-T

への提案活動を行ってきました。本年は、ネットワークソフトウェアライゼーション、コンテンツ指向型ネットワーク、エッジコンピューティング等、新しい概念の議論が本格化されることでしょう。TTCは、IoTを支える次世代網のこれらの標準化課題に積極的に取り組んでいきます。

一方で、安心・安全やネットワークの安定運用に関する標準化課題の検討推進の役割を果たしていきたいと考えています。セキュリティ・トラスト、環境、防災をはじめ、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえ、情報アクセシビリティ関連の標準化への取組強化が必要と考えています。

また、ICTの利活用を通じてインダストリー・インターネット等の様々な産業に新たなイノベーションを創造しようという大きな期待の中で、TTCは、産学官連携、関連団体との連携・協調の他、中小企業やベンチャー企業等多様な方々が集まり、仲間作りや情報収集に活用して頂ける場としても貢献したいと考えています。

TTCは、ICT分野において日本標準を策定する標準化機関として、APT（アジア・太平洋電気通信共同体）やGSC（世界電気通信標準化協調機構）を活用した標準化によるグローバル展開を推進していきます。

標準化の推進と普及活動を通じ、情報通信分野の発展、我が国の国際競争力の向上に本年も最善を尽くして参ります。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、皆様のより一層のご支援ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。